

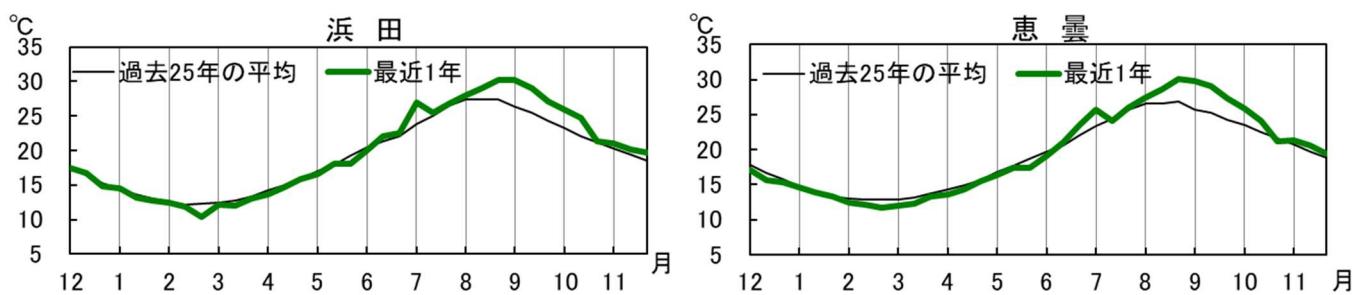


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《11月の海況》



11月	浜田			恵 県		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め			やや高め		
中旬	やや高め	20.3°C	+0.8°C	かなり高め	20.4°C	+0.7
下旬	かなり高め			かなり高め		



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の1.6倍、前年の3.5倍、サバ類は平年の5割、前年の1.1倍、サワラ類は平年の4割、前年の15倍でした。隠岐地区ではブリ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は24.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは996トンで平年の1.2倍、前年の1.7倍、サバ類は659トンで平年の1.1倍、前年の6.6倍、マアジは275トンで平年の3割、前年の2割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の80%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は60.7kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）では11月は漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマダラ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は20.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マダラは平年の2.0倍、アンコウ類は平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.3倍でした。その他、ヤリイカは平年の3.1倍、ヤナギムシガレイは平年の1.3倍、マダイは平年の1.1倍と好調でしたが、ソウハチは平年の1.0倍、アカムツは平年の9割、キダイおよびムシガレイは平年の8割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、ヤリイカ、ニギス主体の漁況で、総漁獲量は265トンでした。1統1航海当りの漁獲量は902kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ソウハチは平年の8割、ヤリイカは平年の1.4倍、ニギスは平年の1.3倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍、ムシガレイは平年の9割、マダラは平年の8割、キダイおよびマトウダイは平年の6割、スルメイカは平年の5割、アンコウ類は平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は23.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.4倍、マアジは平年の1.5倍、ブリは平年の1.2倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は28.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の2.1倍、ブリは平年の3.9倍でしたが、マアジは平年の8割でした。隠岐地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の7割、ブリは平年の8割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではクロマグロ、サワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は37.5kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の1.4倍、サワラ類は平年の1.1倍、ブリは平年の1.0倍でした。石見地区ではクロマグロ、ヒラマサ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.4kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の2.0倍、ヒラマサは平年の1.2倍、ブリは平年の6割でした。隠岐地区ではクロマグロ、メダイ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は32.8kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の1.6倍、メダイは平年の1.4倍、ブリは平年の2割でした。

【令和7年11月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ	—	—	—	—	—	—
	隱岐	ブリ、サバ類	1,981トン	54%	72%	24.5トン	46%	75%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	3.0トン	684%	235%	60.7 kg	223%	213%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マダラ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類	240トン	127%	112%	20.0トン	159%	121%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ヤリイカ、ニギス	265トン	98%	77%	902 kg	95%	90%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ、ブリ	284トン	111%	96%	23.7トン	120%	103%
	石見	サバ類、マアジ、ブリ	114トン	111%	130%	28.6トン	111%	125%
	隱岐	マアジ、ブリ	12.6トン	95%	54%	4.2トン	95%	54%
釣り・縄	出雲	クロマグロ、サワラ類、ブリ	32.0トン	88%	99%	37.5 kg	98%	123%
	石見	クロマグロ、ヒラマサ、ブリ	29.0トン	107%	97%	28.4 kg	112%	113%
	隱岐	クロマグロ、メダイ、ブリ	21.5トン	75%	77%	32.8 kg	104%	120%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当たり漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2°C程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5°C程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1°C程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5°C程度の高さ